

わたしから始まる高知の食育

～毎月19日は「食育の日」～



「食」と「命」のつながりと大切さを学ぶ

農林水産課では、毎年市内の小学生を対象に酪農体験・農業体験学習を行っており、「食」と「命」のつながりと大切さを学ぶ食育の推進を図っています。今回は令和6年度の活動を紹介します。

酪農体験

酪農教育ファームに認定されている円行寺の岡崎牧場で酪農体験学習を行い、市内の小学校16校、約800人の児童が参加しました。

親牛への餌やりや子牛への哺乳、心音聴診、ブラッシング体験などの牛とのふれあいや、牧場主さんからのお話を通じ、食と命のつながりと大切さを学びました。



農業体験

秦小学校と布師田小学校にて農業体験学習を行いました。

秦小学校では、4～6年生を対象にたけのこ狩り体験学習を行いました。実際にたけのこを掘ってみて大変さを学ぶとともに、出荷されるまでの加工の工程を見学し、とても良い経験となりました。学習の最後には、収穫したたけのこを使った炊き込みご飯やスープが振る舞われ、皆さん大満足の様子でした。

布師田小学校では、5～6年生を対象に高知市の伝統野菜である土佐在来大根の栽培を行いました。

講師の方からは、作物を育てることの大変さや土佐在来大根の特徴、種の蒔き方をお話していただき、収穫後ははりまや橋商店街にて販売会を行いました。栽培から販売まで全て自分たちの手で行うことで、とても貴重な体験となりました。

